

2023 年度 0 時間目の記録

2023 年4月10日(月)～15日(土)

栽培中の植物

- ジニアプロフェュージョン
- バジル
- マリーゴールド
- コリウス
- エダマメ
- ハツカダイコン

栽培管理内容

日時	天気	気温(℃)	管理・植物の様子・指導
		最高(℃)	
		最低(℃)	
4/10(月)	晴れ	気温(19℃)	<ul style="list-style-type: none"> ● 特に変化なし ● セルトレイにかん水
		最高(31℃)	
		最低(14℃)	
4/11(火) 8:30	晴れ	気温(21℃)	<ul style="list-style-type: none"> ● 温室の使い方と機能の説明 ● セルトレイにかん水 ● 埋め戻し作業 一度吸水した後に土から出てしまうと、急激な乾燥で枯れてしまう恐れが高まる。そのため、発芽前に浮いている種を見つけたら、埋め戻して上から沈圧する ● 土の乾き具合の確認方法 土に指を置いて数秒そのままにし、冷たく感じれば水分があるという判断ができる。また、プランターを傾けた時の重さでどのくらい乾いたかを押し量ることもできる ● 乾燥対策 セルトレイや育苗箱は浅く乾きやすいので、カゴトレイなどで蓋をして日陰を作る方法もある
		最高(32℃)	
		最低(9℃)	
4/12(水) 8:00	雨のち晴れ	気温(19℃)	<ul style="list-style-type: none"> ● ハツカダイコン、マリーゴールドから芽が出ていた ● 種まきについて 経験がある人は楽しみに思えるが、初めての人には不安(特に不安の強い人は、私のだけ出なかったらどうしよう)に思う傾向がある。そのため、早く芽が出ることがとても大事である。早く出てくるものを覚えておいて、レパートリーとして活かせると良い ● 発芽の差 発芽の速さに違いが出ている。こういう時、理由を探れること
		最高(26℃)	
		最低(16℃)	

2023 年度 0 時間目の記録

			<p>が大事である</p> <p>今回、温度、酸素、種はほぼ同じ条件だったので、残る違いは水の量だとわかる。水をあげると地温が下がるので、それによって冷えて温度が足りなくなり、芽が出なかったと思われる</p> <p>就労支援の時には、水の量も同じ量を渡すと作業が安易</p>
4/13(木) 8:00	晴れ	気温(18℃)	● ジニアの芽も出てきた
		最高(25℃)	● セルトレイは直根が出ているか、毎回トレイを持ちあげ確認することが大切
		最低(8℃)	→観察するがまだ直根が出ているセルトレイはなし
			● プランター(ハツカダイコンの水やり)は指を入れ湿っているかを確認し灌水する方法もあり
			→乾いているプランターのみ灌水
			● 中途半端な灌水はNG
			→直根の先端はもっと下にあり水が底まで届かないと側根も下まで届かず、結果、根鉢全体に根が回らなくなる
			● ハツカダイコンは葉が重なったタイミングで間引く
			→本日はまだ間引きはせず
			● 対象者と発芽した感動を共有する為に、発芽のタイミングを知ることは大切!
4/14(金) 8:30	晴れ	気温(20℃)	● ハツカダイコンの芽が出そろった
		最高(26℃)	● 日中の気温が上昇することも想定しながら適宜灌水施行
		最低(8℃)	● 気温が20℃であるため日中は出入口を網戸とする
			● 間引きに関して
			→プランターの間引きは生育が同じ大きさの苗を残す事で今後の管理が楽になる(その後の定植を計算できる)
			→隣と触れ合う際には比較して、よいものを残すようにする
			→互いの苗が触れ合うことで強い雨、風で倒れにくい利点がある
			→間引き方としては地際をハサミで切る方法もある(根は枯れる)
			● 徒長した苗は、胚軸が伸びた分を土の中に埋めるとよい
4/15(土)	雨	気温(13℃)	● 底面吸水で栽培中のコリウスの芽が出てきた
		最高(19℃)	● エダマメの土がかなり盛り上がり、今にも芽をだしそう
		最低(13℃)	● セルトレイのバジルの芽も出てきた
		最高(℃)	● 本日は気温が上がらず灌水せず
		最低(℃)	● 出入口も20℃超えないため窓を閉めた

2023 年度 0 時間目の記録

写真



4/11 (火) マリーゴールドの発芽の様子



4/13 (木) 指を入れ土の水分を観察する様子



4/14 (金) ハツカダイコンの発芽の様子